

JF-IETF-RFC4867

AMR および AMR-WB の RTP ペイロード形式とファイル形式

RTP Payload Format and File Storage Format for
the Adaptive Multi-Rate (AMR) and
Adaptive Multi-Rate Wideband (AMR-WB)
Audio Codecs

第 1.0 版

2013 年 5 月 23 日

一般社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、一般社団法人情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を一般社団法人情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定されたRFC4867に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第 1.0 版	2013 年 5 月 23 日	制定

4. 工業所有権

TTCの「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC2119, RFC3550, RFC4566, RFC3551, RFC3264, RFC4288, RFC4855

3GPP 標準: TS26.090, TS26.101, TS26.190, TS26.201, TS26.093, TS26.193, TS26.092, TS26.192,

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元である IETF RFC によっている。

具体的な規定内容は RFC を参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

本標準は、Adaptive Multi-Rate (AMR) と Adaptive Multi-Rate Wideband (AMR-WB) 音声符号化方式の信号を IP 上で送受信するために使用するリアルタイムトランスポートプロトコル (RTP) のペイロード形式と、ストレージ上に保存する際のファイル形式を規定する。本ペイロード形式のためのメディア型式の登録も含む。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC4867 : 「RTP Payload Format and File Storage Format for the Adaptive Multi-Rate (AMR) and Adaptive Multi-Rate Wideband (AMR-WB) Audio Codecs」